

島根更生保護

NO.192

(平成29年1月1日発行)
島根県保護司会連合会

〈島根更生保護データ〉

保護司総数	500人
保護観察事件	150件
生活環境の調整事件	240件
(28.12.1現在)	



岩倉の乳房杉ちちすぎ
(隠岐地区 道坂博旨保護司提供)



新年ごあいさつ

中国地方更生保護委員会委員長
関口 裕

あけましておめでとうございます。島根県の保護司の皆様におかれましては、平素から県内の隅々に至る地域において、更生保護の幅広い諸活動に御尽力いただき、誠にありがとうございます。心から厚く御礼申し上げます。

さて、昨年末に発刊された犯罪白書によれば、依然として刑務所出所者等の再犯者率が上昇しており、国を挙げて再犯防止対策の必要性が指摘され、社会復帰支援の充実と強化が期待されています。私は現在、中国地方管内における仮釈放の審理に携わっておりますが、特に気付くことは、昔に比べて高齢受刑者（65歳以上）の割合が多く、したがって仮釈放の審理対象となる高齢受刑者が多くなっていることです。社会全体が高齢化社会を迎えていることから

すれば、ある意味で当然なのかも知れませんが、白書によれば、初犯を含めた高齢受刑者は増加傾向にあり、平成27年は約2300人で、20年前（平成8年）に比べ約4.5倍になっています。受刑者全体に占める割合も増加傾向にあり、既に1割を突破しています。そして更に問題なことは、再犯に至るまでの期間（再犯期間）が高齢になればなるほど短くなる傾向にあることです。例えば半年未満で再犯に至る割合を見ると、20歳代では21.8%、30歳代では25.1%であるのに対し、60～64歳は38.2%、65歳以上では40.2%になっています。仕事や身寄りのない高齢者の立ち直りが極めて難しいことを示しており、出所後の速やかな支援の必要性が浮き彫りになっています。政府は昨年、薬物依存者や高齢者の再犯防止緊急対策をまとめました。これからの更生保護は、地方自治体を基盤とした保健・医療・福祉の分野と密接に連携（ネットワークの構築）し、地域全体を包括した再犯防止対策が求められる時代です。

今後とも皆様の御支援と御協力をよろしくお願い申し上げます。

新年のご挨拶



松江保護観察所
所長 國府 実

明けましておめでとうございます。
皆様御家族お揃いで良き新年をお迎
えになられたこととお慶びを申し上げ
ます。

犯罪や非行のない明るい社会の実現に向け、地域の
チカラを結集し、さらに歩みを進めて参りましょう。

本年も更生保護事業への御支援・御協力を賜りま
すよう、よろしくお願いを申し上げます。



島根県保護司会連合会
会長 坂本 圭 祥

新陽輝く初春を迎え、謹んでお慶
び申し上げますと共に、更生保護関
係者各位のご健勝とご多幸を心より

お祈り申し上げます。

平素の更生保護事業・連合会活動に格別のご理
解とご支援に深く感謝し、更なるご協力とご鞭撻
を賜りますようお願い申し上げます。



更生保護法人島根保護観察協会
理事長 古瀬 誠

新年あけましておめでとうございます。
犯罪のない安全・安心な明るい社会
を構築するため、今、国・政府を挙げ
て様々な施策が講じられています。当協会としまし
ても各関連機関・団体と連携を密にし、さらに更生
保護事業に鋭意努力いたす所存でございます。本年
度も引き続き皆様方のご支援、ご協力を賜りますよ
うよろしくお願ひ申し上げます。



島根県BBS連盟
会長 春日 智 徳

新年明けましておめでとうございます。

更生保護関係機関、団体の皆様には、平素からBBS活動にご理解ご協力を賜り厚く御
礼申しあげます。

さて、私たち島根県BBS会員は、非行少年や社会
不適応少年のいない、犯罪や非行のない明るい社会
の実現を目的とし、友愛とボランティア精神を基礎
とし、少年と同じ目の高さで共に考え学びあうこと
を理念に掲げ、ボランティア活動に取り組んでいま
す。

松江、出雲、浜田の3地区にBBS地区会があり、
それぞれの特性を活かして活動をしています。一般
の皆様の中には、触れない事が多く地道な活動では
ありますが、非行のある少年たちが、社会の一員と
して自立更生すること、また犯罪や非行のない社会
となるように努めていきます。

今後とも更生保護関係の皆様にはBBS活動へのご協
力を賜りたいと思います。



島根県更生保護女性連盟
会長 鐘 築 章 恵

新年あけましておめでとうございます。
平素は更生保護女性連盟の活動にご
理解とご協力を賜り、厚くお礼申し上
げます。

更生保護女性会は本年も会員相互の連携を密にし、
子ども達の健やかな成長と住みよい地域づくりを目指
して活動してまいりたいと存じます。皆様方のご支
援・ご協力を引き続きよろしくお願ひ申し上げます。



更生保護法人更生保護施設「しらふじ」
理事長 吉 長 義 親

謹んで初春のお祝詞を申し上げます。
併せて皆様の本年のご健勝とご多幸
をお祈り申し上げます。

旧年中は、格別のご支援を賜り誠に有難うござい
ました。

本年も、創立者の理念「愛」を大切に利用者につ
け、再び罪を犯すことがない人づくりに努めます。

皆様には、引き続きご理解・ご協力を心からお願
ひ申し上げます。



島根県就労支援事業者機構
会長 古瀬 誠

新年明けましておめでとうございます。

刑務所出所者等の再犯を防ぐためには働
く場のあることが大切であり、平成26年12
月の犯罪対策閣僚会議において「犯罪や非
行をした者の事情を理解した上で雇用している企業の数を
3倍にする」と決定されております。

当機構におきましても雇用する事業主は年々増加して
おりますが、本年も更に協力事業主が増えるよう努めて
いこう所存でございます。

今後とも一層のご支援とご協力をお願い申し上げます。

平成28年度島根県更生保護事業関係者顕彰式典

平成28年11月16日(水)松江市総合福祉センターにおいて多数の更生保護関係者の方が参集し、平成28年度島根県更生保護事業関係者顕彰式典が開催されました。当日は、中国地方更生保護委員会関口裕委員長、中国地方保護司連盟前田義機会長、松江地方・家庭裁判所増田耕兒所長、松江地方検察庁國分敬一検事正、島根県健康福祉青少年家庭課黒田利恵課長、松江刑務所小沼孝行所長、島根あさひ社会復帰促進センター黒柳誠センター長、松江少年鑑別所中西和久所長のご臨席を賜り、島根県保護司会連合会坂本主祥会長の式辞、

松江保護観察所國府実所長の挨拶に続いて、永年更生保護事業に功績のあった150名の方に表彰状が、15団体・217名の方々に感謝状が授与されました。

表彰が終わってから、受彰者を代表して山中洋美保護司(雲南)の謝辞があり、来賓としてご来場いただいた関口委員長、増田裁判所長、國分検事正、島根県知事(黒田課長の代読)の祝辞をいただき、来賓紹介・祝電披露の後、吉長しらふじ理事長の万歳三唱により式典を終了しました。



國府所長挨拶



法務大臣表彰



全保連理事長表彰



受賞者代表謝辞



法務大臣表彰者



来賓者席

平成28年度 各種表彰受彰者 (敬称略)

法務大臣表彰

秋間 近 夫(安来)
坂本 暢 子(雲南)
板垣 秀 和(雲南)
山中 洋 美(雲南)
坂本 光 弘(出雲)
竹村 一 秀(大田)
山根 英 毅(浜田)
三明 昌 子(浜田)
服部 孝 之(浜田)

岡田 義 徳(浜田)
坂折 純 平(益田)

法務大臣感謝状

〔更生保護女性会員〕
青木 薫 代(松江)
野田 律 子(邑智)
〔BBS会員〕
本宮 和 也(松江)

全国保護司連盟理事長表彰

〔保護司〕
永岡 邦 利(松江)
揖野 光 範(安来)
田中 壽美夫(安来)
松田 勉(雲南)
川上 清 子(出雲)
川本 龍 祥(出雲)
藤井 好 文(大田)
下垣 賢 治(邑智)
鹽谷 法 顕(浜田)
鶴永 哲 也(益田)

〔内助功勞者〕

堀江 桂 子(出雲)
前田 麗 子(益田)
〔全国更生保護法人連盟理事長表彰〕
〔島根保護観察協会〕
小田 泰 敬
〔日本更生保護女性連盟会長表彰〕
〔更生保護女性会員〕
渡邊 慶 子(伯太)
大谷 民 子(平田)
柳樂 利 子(多伎)
上田 正 子(海士)



更生保護功勞による
叙勲・褒章（敬称略）

瑞宝双光章 松浦昇（雲南）
藍綬褒章 舟越憲雄（松江）
藍綬褒章 田中篤美（安来）

ご挨拶



雲南地区 松浦 昇

この度の平成28年秋の叙勲に際して、更生保護功勞による瑞宝双光章を受賞しました。東京での授賞式には都合により出席しませんでした。先般12月13日松江保護観察所において、勲記・勲章を受章しました。私自身はこの度の叙勲につきまして、『なぜ私のような者が』と思いました。私は昭和63年に保護司となり、今日まで28年間保護司として勤めてまいりました。その間特別なことをした

事はありませんし、皆様と同じようなごく一般的な保護司でした。皆様の中には私よりも保護司としての勤務年数の長い方や、保護司会等の役員として全体のためにご尽力された方が多数いらっしゃいます。そんな私が受賞するとはおどろきました。

私は保護司としての任期も今年で終わることになりますが、今後は別の立場で支援、協力をして行きたいと思っております。

この度の受賞につきましては皆様のご支援、ご指導の賜であり深く感謝申し上げます。本当にありがとうございます。

無上のよろこび



松江地区 舟越 憲雄

この度、平成28年「秋の褒章」で、身に余る藍綬褒章を受章することになりました。去る11月15日に法務省で褒章伝達を受けたのち、皇居へ参内して、豊明殿において、天皇陛下に拝謁する栄に浴しました。間近で陛下の元気なお姿に接し、温かいお言葉を賜り、この上ない喜びをいただきました。

顧みますと、今は亡き先輩保護司の皆様や地域の皆様方のすすめにより、保護司を拝命して以来、諸先輩の保護司の皆様や関係の皆様方に育てられ、支えられて、この良き日を迎えることができました。心から厚く御礼申し上げます。

私の保護司残任期間は一年程ですが、退任後も私の健康が許す限り、犯罪のない安全・安心な街づくり、地域づくりに努力していきたいと思っています。今後ともご指導ご鞭撻の程よろしくお願い申し上げます。

寄り添いながら



安来地区 田中 篤美

この度、28年秋の褒章において、藍綬褒章の栄に浴しました。これも偏に保護観察所の皆様方を始め関係機関のご支援の賜物と心から感謝しております。私はこの様な章は生涯無縁な事だと思っておりましたので驚きでありました。

26年前にどういう仕事をするのか分からないまま引受ける事になりました。勿論素人の私が皆様を指導す

る立場ではありませんが先輩方に教わりながらの対応でした。対象者一人ひとりの立場の違いがありますのでそれに適応した進め方をしなければなりません。そのなかで常に対象者の目線に立ち、寄り添いながら進める事が大事だと分りました。幸いにもほとんどの対象者が良好解除になりました。そして今日まで一人の再犯者も無く幸運であったと思っております。今後はボランティアの皆様と共働り犯罪の無い明るい社会作りに精進して参りたいと思います。



愛の図書贈呈式

平成28年12月7日（水）松江保護観察所において、島根県更生保護女性連盟による第56回「愛の図書」贈呈式が行われました。皇后宮御歌斉唱、綱領唱和に続いて島根県更生保護女性連盟鐘築章恵会長、松江保護観察所國府実所長の挨拶があり、鐘築会長から県下約2,700人弱の更生保護女性会員が地域住民の方へご寄付をよびかけて購入した、「図書カード」が下記の11施設に贈呈されました。受領者を代表して後藤信之美保学園長からの謝辞があり、その後情報提供の場として、松江刑務所、浜田児童相談所から施設の概要、又図書の利用状況について報告がありました。

愛の図書贈呈式



贈呈先

松江刑務所、島根あさひ社会復帰促進センター、美保学園、松江少年鑑別所、わかたけ学園、中央児童相談所、出雲児童相談所、浜田児童相談所、益田児童相談所、更生保護法人しらふじ、島根県女性相談センター

名言格言からまなんだこと

視点

焦点

邑智地区 保護司 半矢 恵 彬

数多ある名言格言の中で私は2つの言葉を大切に心に留めています。

一つ目は〈親思う心に勝る親心、今日の訪れ何と聞くらむ〉

二つ目は〈憂き事のなおこの上に積もれかし限りある身の力ためさん〉

何と心に沁みる名言格言でしょう。私も、もっと早く生まれてきていたら、この様な名言格言が後世に残せていただろうかと、その才能さえないことを承知の上で考えた時期もありました。

その後、私だけの座右の銘としておりましたが、保護司の仕事を受けてから、この名言格言が役立つことになりました。

私が保護観察を受け持ったK子ちゃん。とても事件を起こすような感じのしない女の子でした。当初から難しい話などせずに、ごく普通の

話ばかりで数か月が過ぎました。ある日タイミングを見て〈親思う心に勝る〉の名言格言をかいつまんで話しました。話していくうちにK子ちゃんのほほに一粒、また一粒と涙が光って流れていくのが見えました。その後K子ちゃんはすっかり立ち直り、今では、素晴らしい家庭を築いています。

Aさんを受け持った時、生活環境調整と保護観察で、かなりの長期間の接触がありました。Aさんに話し続けた事は〈憂き事のなおこの上に積もれかし〉という名言格言でした。Aさんは家族との不和で、重大事件を起こした人でした。立ち直りは難しいかな?と思いましたが、この名言格言を事あるごとに話していきました。現在はすっかり改心していて、明るい家庭に戻っています。

事例によって名言格言の数々を話して、更生保護に努めて参りましたが、前述しました2つの名言格言は、私の変わらない座右の銘としてこれからも私は歩いていく事でしょう。

事例によって名言格言の数々を話して、更生保護に努めて参りましたが、前述しました2つの名言格言は、私の変わらない座右の銘としてこれからも私は歩いていく事でしょう。

大田地区更生保護サポートセンター開設

平成28年10月3日に大田地区更生保護サポートセンターの開所式が大田市仁摩町の仁万まちづくりセンターで、大田市長をはじめ各地区保護司会長等関係機関・団体の関係者およそ60人が出席して盛大に開催されました。

更生保護サポートセンターは、保護司会の事務局であり、経験豊富な企画調整保護司が在駐して刑務所を出所した人等の社会復帰を支援する活動拠点となります。

大田地区更生保護サポートセンターの開設により、島根県にある9保護司会全てに更生保護サポートセンターが設置されたこととなります。今後、各地区の特色を生かした更生保護活動の充実と県内各保護司会の連携が図られることとなります。

大田地区更生保護サポートセンター開所式



竹腰大田市長のあいさつ

石見地区・東部地区保護司代表者会議の開催について



下森津和野町長のあいさつ

平成28年10月20日に津和野町町民センターで平成28年度石見地区保護司代表者会議が開催されました。

石見地区の保護司会長、事務局が集まり直近の課題等について熱心に協議が行われました。

また、同年11月21日、松江保護観察所会議室において、第1回東部地区保護司代表者会議が開催されました。

かつて、東部地区も石見地区と同様に毎年、代

表者会議が開催されておりましたが、それが途絶えていたところ、今年から再開された会議です。

第1回の幹事地区は松江地区保護司会で各地区から提出された協議意見について活発に議論が交わされ、来年度以降も継続して会議が開催されることとなりました。



第66回“社会を明るくする運動” 作文コンテスト島根県最優秀作品



世の中の一員として

小学生の部

島根県・松江市立中央小学校 6年
箕田有音

みなさんは、十年後、そして二十年後どんな世の中があったら良いですか。わたしは、やっぱりとても明るく、だれでもかがやけるすてきな世の中があったら良いと思います。すてきな世の中のためには、環境の問題や、犯罪などのたくさん問題に取り組まなければいけないと思います。今回は、その中でも『犯罪』をキーワードに、自分たちにもできる未来を明るくするための方法を二つ考えました。

まず一つ目は、犯罪を減らすには、犯罪をおかしてしまう人を減らしていかないといけないと考えました。そのためには、過去にあった例を参考に行動していくのが良いと思いました。

世界では、ニューヨークで治安を良くするためにらくがきを消す活動をしました。最初は、らくがきを消すよりも、重犯罪を取りしめる方が良いという意見がたくさんありました。しかし、一九九〇年代ごろは年間、約六十万件の重犯罪があったニューヨークが、らくがきを消しはじめてから五年後、すべての地下鉄のらくがきを消し終えた時には、ほぼ半分まで重犯罪の件数が減少しました。そして、軽犯罪の取りしめりを強化すると、さらに重犯罪の件数が減少しました。

この取り組みは、『割れまど理論』（ブローケン・ウィンドウ理論）からヒントをえて行われました。これは、ジョージ・クリングさんが実験をして考案した理論です。実験は、一週間こわれていない車を放置してもなにもおこりませんでした。しかし、フロントガラスを割って一週間車を放置すると部品がぬすまれたという結果となりました。この結果から、『割れまど理論』というのは、まどが割れているのをそのまま、放置していると、それが「だれも見っていない」という事になり、犯罪がおきやすくなるという事です。ですから割れまどを、らくがき、ポイすてなどと考えて、小さな事からきれいにして

いく事でニューヨークのように、犯罪が少なくなるとわたしは考えました。だから、日ごろからゴミ拾いをするなど小さな事でもやっていくのが良いと思います。たとえば、ゴミ拾いをして道がきれいであればだれもポイすてをしないと思います。そして、きれいなままの状態が保たれると思います。

二つ目に考えた事は、人と人がつながる事です。つながる事が良いと考えたきっかけは、おじいちゃんの家遊びに行った時の事です。おじいちゃんの家には、よく「おすそわけです。」と野菜などを持って人が来ます。反対に、おじいちゃんも、とれたての野菜などを持っておすそわけをしに近所をまわります。これは、おたがい相手の事を思っている行動だと思います。このように、相手を思いあっていたら、おたがいがきもち良く安心してすごせると思ったからです。

でも、畑でとれた野菜などをおすそわけをして、人とつながるのは、都会などではなかなかできないと思います。だから、「おはようございます」とあいさつをしたり、「あついですね」と言葉をかわして、人とつながるのが良いと考えました。小学校に行くときにも大人になってからもできる取り組みだと思います。

この二つの考えた事には、共通点があると思います。それは、子供も大人も一人一人が少しの意識をすることで、やれるということです。だから、犯罪がおこる事と自分達の行動とのつながりはないと考えずに、もっと身近にあると、世の中の人が知り、一人一人が正しい行動すればよい世界が作れると思います。

今、世界には、約七十三億人の人間がいます。この七十三億人の人は、一人一人みためも、考えている事も、好んでいる事もちがいます。わたしは一人一人ちがって良いと思います。でも、一人一人をそんちょうし、おたがいに大切な気持ちをたく

さんの人が持たないといけないと思います。また、一人一人が社会にいる事をわすれずに責任をもって行動する事で、いじめや犯罪を減少させる事ができると思います。

世の中には、悪い事を考える人がいます。わたしは思った二つの考えをみんなに伝え、理解してもらえたらこのような人が、良い考えをもつようになると思います。世の中の一人一人に得意な事と苦手

な事があります。だから、苦手な事は、それが得意な人が支えます。みんなが手を取りあって生きていけば明るい未来がきっと来ると思います。そして、社会に生きる人として、一つ一つの行動に責任をもつことも大切だと思います。わたしは、世の中の一員として、自分の行動に責任を持ち、世の中の一員として、人を支えたり、逆に人に支えてもらったりする事ができるようになりたいです。



姉ちゃんへ

「姉ちゃん！これが妹の翼だよ。」

僕は妹を抱き、姉の位牌に語りかけました。姉は生まれつき心臓の難病に冒されていました。父と母にとっては初めての子、「何とか生き長らえてほしい。」と一日一日を過ごす中、彼女が小学校に入学する前、その願いは叶わず、この世を去りました。わずか六歳でした。姉の入った小さな棺のそばで泣き崩れる父と母のあの姿は、当時、たった三歳だった僕の脳裡にも鮮明に焼き付いています。それ以来、僕は姉が亡くなったという事実を受け入れることが出来ず、今でも姉がそばにいるような気がしています。

姉が亡くなり、弟が生まれました。弟は今小学校五年生です。そして一昨年、母が妊娠しました。母の体に宿っているのは女の子だと聞きました。その瞬間、僕は「姉は生きている。姉が生まれ変わって生まれてくる。」と感じました。母にとっては高齢での出産。それは楽ではありませんでした。母は病院に一月近く入院し、父と弟と三人の生活が始まりました。「どうか、どうか無事生まれてきてください。」「神様、母さんに、女の子をもう一度抱かせてあげてください。」と毎日心の中で祈りました。そして、ついに、医師から無事生まれたという知らせが届きました。

自分の腹を、初めて痛めた娘をわずか六歳で見送らなければならなかった母。その母にとって、新しく体に宿った娘の出産は特別な意味があったのです。母は苦しい出産に耐え、何とか無事に誕生してほしいと強く願いました。それは、病気に苦しむ姉にどうか生きていてほしいと強く願った、あの時の思いと同じだったのです。ベッドに横たわる母は翼を抱きしめ、「ここには、玲奈もいるよ。」と目を潤ませ

ていました。父の頬にも涙が伝っていました。僕も弟もそんな父と母の姿を見て一緒に泣きました。

今、一歳四ヶ月となった妹は、僕の家を中心です。とても成長が早くて、僕の膝と同じくらいの高さの椅子も難なく上ることができるようになりました。一番驚いたのが、妹の手がぎりぎり届く高さの机に、懸垂の状態であら下がっていた時でした。「凄いな。」と思ったけどとても怖かったです。妹の成長は僕にとってはかけがえのないものです。たまに、テレビのチャンネルを変えられたりして困ることもあります。それでも次は何をするのかな？という反応をするのかな？と、それを見るのがとても楽しみです。翼の兄であることがとても楽しみです。翼の兄であることが今の僕にはとても幸せなことです。

しかし、世間では、こんな風に子供の成長を楽しむことなく、子供に対し虐待をしたり育児放棄をしたりして、最悪殺してしまうといった事件が時折報道されます。生きようとしても生きられない命がある中、せつなく生きてこの世に生まれたのに、他人の勝手な都合でその生きる権利を奪う。そういう行為を僕は絶対に許すことができません。

僕は姉の死、そして妹の誕生を通して、「どれだけ命が大切であるか！」「どれだけ命が愛おしい物であるか！」そのことを知りました。命は、一番の宝です。僕は僕自身に与えられた命を、これからも大切に、後悔することがないように、精一杯生きていきたいと思っています。そして、他人の命、生き方も大切にしていきたいです。それが姉ちゃんの命につながるはず。みんなが自分の命、他人の命を大事にできる社会を目指して、

「姉ちゃん僕をしっかりと見ていてください」



島根県・吉賀町立柿木中学校 3年
三浦飛稀

第66回“社会を明るくする運動”作文コンテスト入賞者

応募総数1,761点（小学校523点、中学校1,238点）

【小学生の部】

最優秀賞

- 第66回“社会を明るくする運動”島根県推進委員会委員長賞（1位）
世の中の一員として
松江市立中央小学校6年 箕田 有音

優秀賞

- 島根県保護司会連合会長賞（2位）
助け合うことで明るくなる社会
益田市立安田小学校6年 榊原 龍佳
- 更生保護法人島根保護観察協会理事長賞（3位）
みんなで“ちょっと”ずつ
吉賀町立七日市小学校5年 渡邊 大地
- 山陰中央新報社賞
きびしさやさしさで明るい社会を
雲南市立大東小学校6年 堀内 凜音
- よりよく生きていくために
江津市立高角小学校6年 勝部 京

- 島根県更生保護女性連盟会長賞
一人一人の力で作る明るい社会
雲南市立斐伊小学校6年 亀山 心寧
- つながること
松江市立朝酌小学校6年 田村 優衣
- 島根県BBS連盟会長賞
ぼくの声を届ける
隠岐の島町立磯小学校6年 野津 朋生
- みんなが幸せになるために
出雲市立塩冶小学校5年 宮内 楓生

- 更生保護法人島根保護観察協会理事長賞（3位）
「ぼくの名前」
雲南市立掛合中学校3年 横貝 伸樹
- 山陰中央新報社賞
伝統芸能で地域を明るく
江津市立桜江中学校2年 大地本琴音
- 子どもへの虐待を防ぐには？
大田市立北三瓶中学校1年 神在 紗那
- 島根県更生保護女性連盟会長賞
気づいてくれてありがとう
吉賀町立柿木中学校2年 友重有加里

【中学生の部】

最優秀賞

- 第66回“社会を明るくする運動”島根県推進委員会委員長賞（1位）
姉ちゃんへ
吉賀町立柿木中学校3年 三浦 飛稀

優秀賞

- 島根県保護司会連合会長賞（2位）
相手と分かり合うために
出雲市立第一中学校1年 三成 愛実

- 住みよい社会と見えない努力
江津市立江津中学校3年 吉岡 京祐
- 島根県BBS連盟会長賞
社会を明るくするまほうの言葉
大田市立志学中学校2年 井上 彩花
- 大好きな家族
出雲市立浜山中学校3年 森山 愛月

保護司の異動

〔退任保護司〕 11名（平成28年11月30日付）

井上 博 巳（松江）	森山 正 洲（出雲）
堀江 正 俊（出雲）	藤谷 崇 文（大田）
野村 博（益田）	奥原 千賀子（松江）
板垣 秀 和（雲南）	神田 修一郎（出雲）
渡部 卓 史（出雲）	林 正 朗（大田）
勝部 幹 夫（邑智）	

〔新任保護司〕 15名（平成28年12月1日付）

小川 廣 教（松江）	片寄 周 二（松江）
須山 俊 二（松江）	田部 由美子（松江）
板木 正 久（出雲）	打田 美喜子（出雲）
嘉本 武 司（出雲）	坂本 美喜雄（出雲）
角 美 幸（出雲）	村上 勉（出雲）
渡部 享 次（出雲）	島田 義 仁（浜田）
林 俊 行（浜田）	石井 正（益田）
大庭 和 子（益田）	

敬 弔

下記の方がご逝去されました。ご功績を偲び謹んで哀悼の意を表します。

- 元保護司 太田 秀夫（松江）（平成28年10月3日死亡）
- 元保護司 長谷川 高 清（出雲）（平成28年10月18日死亡）
- 元保護司 福原 里 司（松江）（平成28年11月20日死亡）
- 元保護司 梶谷 玄 雄（雲南）（平成28年12月7日死亡）
- 元保護司 新宮 晴 美（松江）（平成28年12月17日死亡）

ご支援ありがとうございました

（島根保護観察協会）

敬称略

松江地区更生保護女性会

（表紙写真説明）

岩倉の乳房杉

八百数十年に渡り地域住民、島民の皆さんの生活を見守って来た岩倉の乳房杉（いわくらのちちすぎ）。樹高30m、幹囲約11m、主幹は15本に分岐し、その分岐した部分から大小24個もの乳房状の根が垂れ下がっていることから、その名が付けられたと聞きます。岩倉神社の御神木として、毎年4月23日に供え物をして祭礼も行っています。